



# 「赤心」 校長室だより

No.3 7/27(月)

文責 田中 敏子

本日、一学期76日間が終わります。

4月、緊張した面持ちで教室周辺だけを歩いていた一年生が、今は学校中で元気いっぱい活動しています。チューリップが咲いていた花壇では、ヒマワリが太陽に向かって大きく大きく伸びています。

安茂里小学校の教育に対してのご理解とご支援を心から感謝いたします。

子どもたちにとってすばらしい夏休みとなるよう、よろしくお願い致します。

## 夏休みだからこそできる体験を！

子どもたちが楽しみにしている22日間の夏休みです。どんな計画を立てて過ごすのでしょうか。

何かにチャレンジすることを計画に入れている人も多いかもしれませんね。

例えば、「学校のプールに通って水泳が上手になるように頑張る」とか「じっくり時間をかけて調べ学習をしたり、涼しい時間帯を読書をしてたくさんの本を読む」とか、少年野球やサッカーに入っている人は「練習に打ち込む」とか、自分に適しためあてを持っている計画していると思います。

計画に沿って実行し、ぜひ「やったぞ」という達成感を味わってほしいと思います。

それから、夏休みは学校に来ているときとは違う時間の流れの中で生活することになります。

ですから、いつもは気づかなかったことが発見できたり、感動したりするチャンスがあると思います。

例えば、夜空の天の川や星々の美しさに気づいたり、きれいな花や草むらの虫たちに気づいたり、いろんな人たちと出会ったり、様々な活動に参加したりと、いろんな体験ができそうです。

そういうことを通して、もっと知りたい・自分でもたってみたいと感じたなら、それは素敵なチャレンジのチャンスです。この夏休みだからこそできることにチャレンジして、思い出深い夏休みを、子どもたち一人一人がつくってほしいと願っています。

休み中、健康に気を付けて、交通事故に遭わないように注意して生活しましょう。

8月19日に、また元気なみなさんに会えるのを楽しみにしています。

学有林愛護会の皆さんが中心となって、理科室前のピオトープの整備をしてくださいました。



全体がすっきりして明るくなりました。橋が新しくなり、気づいた子どもたちは大喜びで渡っていました。

ありがとうございました。